



瞳を輝かせて Brilliant Eyes

向上心を持って取り組んでいきたい

平成20年度文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」を受賞

むらもと 村本 光一さん(写真手前)・市川 哲也さん

製品の品質向上や、コストダウンなど優れた創意工夫を行い、科学技術の振興に貢献している人に毎年、文部科学大臣から贈られる創意工夫功労者賞。今回は、今年4月にこの賞を受賞した村本光一さんと市川哲也さんを紹介します。

二人の職場は、ハイブリッド自動車用の電池ケースの開発や製造などを行うハマプロト株式会社からの受賞者は6人となります。二人が工夫し考案した装置は、作業員の負担の軽減や不良品の抑制など多くのメリットを生み出しました。村本さんが改良に取り組んだのは電池ケースを検査する透過検査台。電池ケースの壁の厚さは1.2ミリ。そのプラスチック製の壁の内部に、精製の

▶▶▶プロフィール

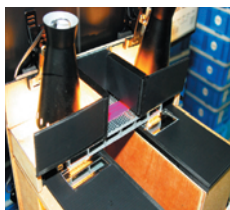
むらもと・こういち 昭和47年生まれ。名古屋市在住。生産グループ勤務。趣味は映画鑑賞。

いちかわ・てつや 昭和58年生まれ。岡崎市在住。生産グループ勤務。趣味はドライブ。

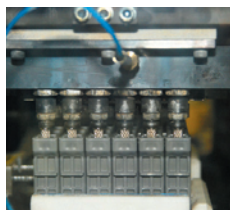
【ハマプロト株式会社】

三好町大字三好字森曾130番地 (☎(34)7337)

自動車部品製造業。資本金5,000万円。従業員数67人。



▲村本さんが工夫した電池ケースを検査する透過検査台。



▲市川さんが工夫したナットの高さ調整装置。

過程でできた気泡が含まれているものがあります。気泡があると壁が薄くなってしまい、ケースの破損などの原因となります。気泡入りの不良品を取り除くために、一つ一つケースの裏側から電灯を当てて、壁の中を透かして検査を行います。村本さんは、検査台の中に電灯と鏡をうめ込み、ケースを裏返すことなく気泡を発見できる検査台を作成しました。「この改良を行ったことで多くの仲間から感謝の言葉をもらいました。それが何よりもやりがいになります」とにっこり。

市川さんが取り組んだのは、電池ケースに取り付けるナットの高さ不良の改善。従来の課題は、ヒーターで暖めたパンチを使って6本のナットをケースに同時に打ち込むと、暖めたナットに温度差が生じ、打ち込んだナットの高さがそろわずに誤差が出ることでした。そこで市川さんは、熱が伝わりやすいようにヒーターとパンチ部を接触させ、ヒーターの電力数も上げるといった多くの工夫をすることでこの課題を改善。「ヒントになったのは焼肉です。ホットプレートで焼肉をした時に中心付近の肉が先に焼けるのを見て、中心付近のみを使用すれば温度のばらつきが少なくなると思い、ひらめきました」と市川さん。日常生活の中の何気ない場面からヒントを得て、品質改良に結び付けました。二人は、これまでの試行錯誤の日々を振り返り「今回受賞できたのは、職場の仲間の協力のおかげです。この受賞に満足することなく、今後も向上心を持って創意工夫に取り組んでいきたいですね」と口をそろえ、さらなる挑戦に瞳を輝かせます。

おめでとう
おたんじょうび
6月

『乗り物の名前も言えるよ!』

乗り物が大好きで、いくつも名前を覚えていたつちゃん。中でも「はとバス」が1番のお気に入り。ゴールデンウィークに東京まで行って乗ってきたんだよ。いつも元気で、公園で幼稚園の子どもたちと遊ぶのが大好きなつちゃんに「明るく真つすぐ育つてほしいな」とお母さん。

おたけ たつき
大竹 達樹くん(三好下)

平成17年6月3日生
父・雄司さん 母・円さん



『お姉ちゃんのごっこが大好き!』

鈴奈お姉ちゃんすずなと遊ぶのが大好きなあいちゃん。お姉ちゃんのすることは何でもまねして、自転車も一人で乗れるようになったんだよ。うさぎのぬいぐるみのちびももに、ごはんを作つてあげるあいちゃんに「優しく思いやりのあの子になつてね」とお母さん。

かわはた あいな
川端 愛奈ちゃん(三好丘あおほ)

平成17年6月8日生
父・康弘さん 母・千晶さん



出場者募集

- ▼【8月のお誕生日コーナー】
- ▼応募期間＝7月1日から3日まで
- ▼対象＝8月生まれで3歳未満の児
- ▼応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)833517
- ※6月生まれの応募は、10人でした。(抽選により掲載決定)

広報クイズ

問 合体漢字の問題です。左の漢字やカタカナ、記号、英字をつまみ組み合わせると、3文字の言葉ができます。さて、それはどんな言葉でしょう。

(ヒント：6月によく見られます)

工 毎 、 木 、
T 、 ウ 、 冂 八

【応募方法】①答え(例：紫陽花)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、フアクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード5000円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

フアクス：☎(32)60008

電子メール：✉hisayokoh@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】6月12日(木)必着

【5月号の正解と当選者】答え：ロ子(全33通正解32通)大河内一貴、岡隆、加藤ひとみ、近藤隆史、近藤裕子、芝原真由美、白濱愛梨、眞野香、水谷賀寿子、楊原敬子(敬称略)

※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。



お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。



真剣勝負で体力づくり

第13回町長旗争奪グラウンド・ゴルフ大会

老人クラブ会員の体力づくりと参加者相互の交流を図ろうと5月16日、三好公園陸上競技場で第13回三好町長旗争奪グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。町制施行50周年記念事業の一つとして、町内の21の老人クラブからおよそ280人が参加。スイングするとすぐにボールを追って走り出す人も多く皆はつらつです。若者顔負けの元気さとその真剣なまなざしで、個人戦・団体戦と熱のこもった試合が展開されました。



笑顔の溢れる交流会

ふれあいバード

ハンディキャップのある人との交流や、運動不足の解消を目的に5月11日、三好公園総合体育館で「ふれあいバード」が行われました。三好町社会福祉協議会が主催した毎年恒例のこのイベントも今年で5回目。リズムに合わせて手拍子をし、ハンドベルを鳴らすリズム体操のほか、クイズに答えながらシールを集め、ゴールを目指すシラリールを実施。参加者は思い思いのペースで楽しみながら交流を深めていました。

いつか三好からプロ野球選手を

野球育成教室

子どもたち個々の技術向上を目的とした野球育成教室が4月29日、北部コミュニティ広場で開かれました。これは地元の子どもたちに野球を指導しているYBS野球育成教室が主催したもの。年長園児から中学生まで24人が、今回講師を務めた元愛工大名電高校監督の中村豪（つよし）さんや元プロ野球選手などから指導を受けました。身ぶり手ぶりを交えた熱心な指導に、子どもたちの表情は真剣そのもの。力いっぱいボールを追い掛けました。



助け合って子育てをしよう

三好町ファミリー・サポート・センター講習会

ファミリー・サポート・センターは、子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）と手助けをしてくれる人（援助会員）が協力し合いながら子育てを支援する組織です。その入会説明と子育ての講習会が5月15日、学習交流センターで開かれました。入会説明に続き、尾三消防本部の救急救命士による心肺蘇生法の講習を受講。参加者は大きな掛け声を出しながら、子どもの事故防止のため真剣な表情で講習に取り組んでいました。



誰でも簡単に楽しめるスポーツ

カローリングB級・C級資格取得講習会

カローリングは、氷上のスポーツ「カーリング」からヒントを得て日本で生まれたスポーツで、お年寄りやハンディキャップのある人も楽しめるスポーツとして海外でも人気です。その普及を図ろうと、審判員・指導員の資格取得研修会が、5月10日に三好公園総合体育館で行われ、およそ50人が参加しました。講師の坂元亨文（さかもと けんぶん）さんは「多くの人に楽しんでもらえるよう、普及活動をしていきたいです」と意気込みを話していました。



親子で楽しめる会に育てよう

桜子ども会新入生歓迎会

今年4月に設立された「桜子ども会」。4月27日に初めての行事である「新入生歓迎会」が緑丘小学校の体育館で行われました。初めに桜子育てクラブ代表の西川辰司（にしがわ たちじ）さんが「子どもたちが笑顔で楽しく過ごせば、それを見た大人も笑顔になります。みんなが笑顔になるすてきな会にしましょう」とあいさつ。その後「じゃんけん列車」などのレクリエーションが行われ、参加した子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。

